

令和7年度 在宅医療・介護連携の推進に係る東海北陸管内6県意見交換会資料

在宅医療・介護連携の推進に係る
市町村支援に向けた取組
(三重県)

令和7年9月26日
医療保健部長寿介護課

R7年度 在宅医療・介護連携推進事業について

	内容
R6年度に実施した取組（事業・会議等）の内容	○在宅医療・介護連携事業に関する市町ヒアリングと意見交換会 ・市町の関心の高い「入退院支援（ルールやマニュアルの作成等）」、「ACP（住民・関係者への普及啓発・パッケージ作成等）」、「在宅医療・救急連携（消防との連携、ガイドブックの作成等）」を中心に聞き取りの実施。また県内29市町の担当者を集め、好事例の共有やグループワークを通して担当者同士の関係性を築く意見交換会を開催。 ・市町の在宅医療介護連携に関する会議に参加し、情報共有を図った。 ○ACP推進事業 ・「医師、ケアマネージャー、リハビリ職、市町担当者等を対象とした研修会」「人生の最終段階における医療およびケアの在り方や、ACPの普及啓発に関する検討会」「医療従事者向けのACPの普及啓発資料の作成」を実施 ○データ分析事業 ・保険者支援のため基礎分析資料を作成。（見える化システムやNDBデータを基に分析） ・看取りに関するアンケートの実施
市町村の現状と課題	・全市町ヒアリングや市町の会議参加による状況把握。
県としての評価 （取組が必要と思われること）	・市町ヒアリングや会議参加の継続、また意見交換会の開催により、地域の実情・特性に応じた取組を推進すること。
現状・評価を踏まえたR7年度の対応策（事業内容）	医療・介護連携事業に関する市町ヒアリングや市町会議への参加 ACP推進事業とデータ分析事業の継続。 特にデータ分析事業に関しては令和6年度から開始した事業であるため、昨年度の結果と比較した経年変化を詳細に示し、市町ヒアリングに活用する予定。

在宅医療・介護連携の推進に係る市町村支援に向けた取組

■市町村支援に向けた取組

(三重県)

標題	各市町や各圏域の活動状況の把握と意見交換会の実施
概要	各地域で行う研修会等に参加し、各地域の取り組み状況を把握し、他の地域へ好事例の情報提供を行い、市町担当者およびコーディネーターとの意見交換会を行った

■取組に至った経緯（背景）、課題認識、目的

- ・オンライン通話による市町ヒアリングと各地域の研修会に参加し、各地域の現状を把握した。

■取組の詳細（プログラム等）

意見交換会の実施（対面）

- ①県から在宅医療・介護連携に関するデータを基に県の現状について紹介
- ②市町と広域連合から身寄りのない方への支援について好事例の共有
- ③グループディスカッション（入退院支援、ACP、在宅医療と救急の連携について）

■取組の成果、成果に至った要因、所感等

市町等からの反応は好評であった。

各市町で困難に感じていることや今後取り組んでいきたいこと等を事前にアンケートで聞き取ることで、興味関心の高いテーマに焦点を当てて意見交換をすることができた。